

令和5年度からの指名競争入札(合冊入札)による最低制限価格算出方法について

令和5年度入札執行分より、「玉野市建設工事最低制限価格」の算出方法が変わります。合冊入札につきましても、次により予定価格を算出します。

(※ 従前よりの改正部分は赤文字部分となります。)

1. まず、工事1と工事2それぞれの基礎価格(A1)と(A2)を平成31年3月改正の中央公契連モデルに準拠した下記により計算します。

$$\begin{aligned} \text{計算式} \quad & \text{工事1基礎価格(A1)} = \overset{\text{直接工事}}{\text{(ア)}} + \overset{\text{共通仮設}}{\text{(イ)}} + \overset{\text{現場管理}}{\text{(ウ)}} + \overset{\text{一般管理}}{\text{(エ)}} \\ & \text{工事2基礎価格(A2)} = \text{(カ)} + \text{(キ)} + \text{(ク)} + \text{(ケ)} \\ & \text{(1)} = \text{(ア)} + \text{(カ)} : \text{直接工事費の97\%} \\ & \text{(2)} = \text{(イ)} + \text{(キ)} : \text{共通仮設費の90\%} \\ & \text{(3)} = \text{(ウ)} + \text{(ク)} : \text{現場管理費の90\%} \\ & \text{(4)} = \text{(エ)} + \text{(ケ)} : \text{一般管理費等の55\%} \end{aligned}$$

$$\text{合冊工事基礎価格(A)} = \text{(A1)} + \text{(A2)} = \text{(1)} + \text{(2)} + \text{(3)} + \text{(4)}$$

(合計額に1円未満の端数が生じた場合は切り捨てとします。)

2. 次に、係数(5)を下記により算出し決定します。

$$\begin{aligned} \text{計算式} \quad & \text{係数(5)} = 1 + (0.0012 * X + 0.00012 * Y) * Z \\ & X : 0から9までの1桁の整数(0~9) \\ & Y : 0から9までの1桁の整数(0~9) \\ & Z : 0から9までの1桁の整数により結果が、 \\ & \quad 1 \cdot 3 \cdot 5 \cdot 7 \cdot 9 \text{の場合は(1)} \\ & \quad 0 \cdot 2 \cdot 4 \cdot 6 \cdot 8 \text{の場合は(-1)} \end{aligned}$$

X、Yは入札時に岡山県電子入札共同利用システムから発生させた0から9までの1桁の整数とします。Zは入札時にシステムから発生させた0から9までの1桁の整数について、発生した値が奇数の場合は「1」とし、0又は偶数の場合は「-1」とします。

(係数(5)の範囲は0.98812~1.01188とします。)

3. 最後に、合冊工事基礎価格(A)に係数(5)を乗じて最低制限価格とします。

$$\text{計算式} \quad \text{最低制限価格} = \text{合冊工事基礎価格(A)} * \text{係数(5)}$$

(最低制限価格は1,000円未満を切り捨てとします。)

※ただし、最低制限価格が設計金額の75%未満となった場合、最低制限価格は設計金額の75%に引き上げ、また92%以上となった場合は、92%に引き下げるものとします。合冊入札については合計額により算出します。